

廓内巻

中

編

へ13
2942
8



へ13
2942
8

昭和九年
七月九日
東京

両個女兒廓花笠第三編卷之中

東都

松亭金水編次

第十五回

北里の清攬

ろいど 清攬の入口小相屋とのみ行燈をうけつるは是裏菜坊
の眼印をえりて其後淑けり門にやもある下松るるは能あり
緋地小白く相の紋と深松小く半暖笠着成溜とつバ
らまの香脱小根厨門の石成飛麻の系組の階より
とまはゆい五秋の松折ありてとまはあたるまの存あり

茶儀

春日の體々唐羽のよ水陣植むらさき梅と桐の
撥不掛る風流の復物が教本の親冊と有深
へゆく入はるのギヤマンの簾紙むけり初てあめ掛らへん
雅俗成風とくわつてあるりまのいと運入て入口の障
子細り不教成か—イも免るるす—
主大やくおより先刻くうとト存教のうと成眼をわさる
と流流の莞尔とくわたりへ本不流のうと宜んふま
うと女房へ入て宜ヨ流へまあるは免るるすト侍の障紙成さる

まとあけく運入とびあつるるを存付りける面掛く
看へられしと出候くうと自色流まりの進のうと重録ある
うとあつて流へ一撥不出候の成子千代とせんぐと
代不特とくと考と流不特んでお是るをのうと
ゆられと子今夜とさうも寛うと—ちややと流れません
宜小モウ 考とつとよア五ませんうと入へまさうけはる由
相流—とる。とん。の知とと典月流とる。何れが掛合
とつけくゆにやう不仕やう—た流し七か是まをる也

掛のけきど万一お宅へ知るとと大後七をいふまに子へ
然しく今もやア大かこ忠新遠さんもお出来るまひす
さうさう一後へ今もつくと猪牙ヨシ宅へ知ると移るやうな
まらアな 一何ぞうモウ。程々が揃へて志まらつてつてあり
ません 一何ゆを秘不れぬ棟後へ由軍とやア後か
多く一ツ飲ねへ 一子お多松 一自色先刻うう一個と
やうさう一ツモシ内室さん坐本と一ツかお多松を 一アア一ツ
うさう。あう一お邪魔不致ちやア 一後へ一エを秘るを清けい

ありませんううさう 一今お殺もまわりうまは者さんまを
難の方う軍と仕仰まうとつけな 一後へ一た松サ知くと精由
つひやうこのいふのさや房へ後さんおひやうれまはま
これ 一のらさうさう。おふつちや 一えさうこれの
是より後着を赤の者懸念の難は具行の中別係と
さういへ 一お多松とさうふやふ千代まのその心の切るさ
ま。 一お多松の 一きりだ 一お多松
慕し。具行のつとつて愛の難はるねいお多松お多松と
切く後次不念せけなま。 一後を赤も後次も千代
さう 一お多松の 一お多松の
さう 一お多松の 一お多松の

却後か海へ夫を舟より。舟の返りの居たり。子舎
の彌紙と建切てまう。村とまり。披ゆく。見る不
け。秘の細く。このは又。殊不。せんく。は。深切。ある。る。も。
骨牙不。き。と。結。く。ぞん。よ。の。作。の。よ。一。を。り。を。
此。心。の。や。う。中。も。存。人。と。彩。り。の。の。え。や。若。界。不。牙。
と。き。う。え。人。を。さ。う。ね。活。業。の。出。る。う。る。る。畜。生。
た。不。ち。ち。い。ん。が。親。の。あ。成。續。の。う。り。る。の。も。よ。う。ん。
た。い。ん。が。ま。う。方。の。牙。と。配。り。く。け。方。の。牙。と。救。ひ。い。

い。う。る。と。い。ん。が。う。け。く。止。ま。う。る。さ。れ。る。く。い。と。い。ん。が。う。
み。作。せ。い。と。も。け。り。の。ま。う。り。の。水。引。が。う。と。善。も。た。親。の
の。う。り。の。遠。ひ。る。さ。れ。い。と。い。ん。が。姉。妹。と。の。不。解。は。思。
ある。親。の。は。例。成。離。れ。早。と。あ。よ。る。た。歎。き。な。り。の
い。の。来。来。永。劫。浮。沈。も。る。た。不。孝。の。牙。一。ゆ。い。ま。
あの。不。成。よ。く。は。考。へ。る。さ。れ。い。と。い。ん。が。と。き。ん。ぐ。ら。う。ゆ。
ち。が。ひ。る。さ。れ。ま。う。の。不。成。不。夫。を。舟。さ。の。の。は。事。一。ゆ。
他。方。より。は。空。の。色。り。遠。ひ。ま。く。と。あ。い。ん。が。は。を。い。ひ。



此の男、世方の義は、海なるうとは後世まゝに
よふふらふらふのうらふらふのそへ姉さんごうとそ
把くすうふ。引ひかへわ山む相て硯の蓋成さう。ま
細くとち文へおと母親への愛を著その文章のうと
か代う方へおとろく。そのあたまにちよんけらう、
ふも返りみんに成らう。で成らう。く虫飛く今ま
り人由重云らまにと血縁の愛の相おの。かおたあとの紙を
叔父おと成と対ぬの。姉さんの孝ふゆま。その孝ゆる

姉さんふ。勉をさそん昔しませが一の功の由のの身が
安楽うておと相てのうままへ親へゆ。海なるうと
あひま。松の心成決し。今より自身と山里へ法を合さ
姉さんの身情をいさて心ゆま。何とそとのまへ。私と
あした相續の一辰の。よう。くおとらううひけ下じ。あじ
るらう。あま親のあや法も何をん。私斗りの存考あてて
身を自由ふらふたのへ。海なるうとどんとあがう。熱さ
るらう。ま。彼と健を合。斗らひあまらう。あはるうて。お

角の角ひを... 残も... 相後...
 ぬもまゆ人と... せや... 子余の...
 密と... 暮の... 廊へ...
 さぬ... 廊の...
 喜見城の夜明と... 寝...
 松子... 雲の... 眉の...
 止まり... 夜...
 一長...

正 跡不... 東南... 是也
 喜見城の夜明と... 寝...
 松子... 雲の... 眉の...
 止まり... 夜...
 一長...

兄はあり。御もあくありけり。良ありて。吐息ゆき。まへに
 まアおあこせ。分らるるの嫌ご。何れおあ。の身は依ん。
 私の身は依。依る方のごらう。は乃の返。何れお。まへに
 あげ。ごらう。ごうせ。私まやア。新い。泥水へ。沈んご。膝ご。
 親の。必。須。願。ご。まへに。ごらう。おひも。あう。ごらう。まへに。親
 ごと。依。り。ごらう。と。夫人。ごらう。か。お親。の。お。まへに。お。ごらう。不。ごらう。
 必。須。願。ご。まへに。あ。げ。て。お。共。と。彼。依。り。ご。あ。げ。
 と。ま。や。あ。の。う。成。り。ご。あ。あ。の。志。私。が。身。不。對。ご。ま。や。ア

婿。ご。の。ご。ま。や。あ。の。う。成。り。ご。あ。あ。の。志。私。が。身。不。對。ご。ま。や。ア
 親。ご。の。必。須。願。ご。まへに。あ。げ。て。お。共。と。彼。依。り。ご。あ。げ。
 必。須。願。ご。まへに。あ。げ。て。お。共。と。彼。依。り。ご。あ。げ。
 と。ま。や。あ。の。う。成。り。ご。あ。あ。の。志。私。が。身。不。對。ご。ま。や。ア
 婿。ご。の。ご。ま。や。あ。の。う。成。り。ご。あ。あ。の。志。私。が。身。不。對。ご。ま。や。ア
 親。ご。の。必。須。願。ご。まへに。あ。げ。て。お。共。と。彼。依。り。ご。あ。げ。
 必。須。願。ご。まへに。あ。げ。て。お。共。と。彼。依。り。ご。あ。げ。
 と。ま。や。あ。の。う。成。り。ご。あ。あ。の。志。私。が。身。不。對。ご。ま。や。ア
 婿。ご。の。ご。ま。や。あ。の。う。成。り。ご。あ。あ。の。志。私。が。身。不。對。ご。ま。や。ア
 親。ご。の。必。須。願。ご。まへに。あ。げ。て。お。共。と。彼。依。り。ご。あ。げ。
 必。須。願。ご。まへに。あ。げ。て。お。共。と。彼。依。り。ご。あ。げ。
 と。ま。や。あ。の。う。成。り。ご。あ。あ。の。志。私。が。身。不。對。ご。ま。や。ア

おまへヨア一ホオア親ぐ水老判を押さへけね抱へ
喜んぬわい。何れいふ身をばよとほしに陽々まをの
洗ひしをてんま。おのらう分らぬいんやア。相傳成るまゝ今
オレとわかの身をば。法正の出来ぬ。まどろろア。宅へ降るく
あけ親ぐ。由お標し。まどろろと長知づくまをねいん
おまへと。おんちん。今夜におおるヨ
おのらうふ干代まぐ。親ぐおま〜。おのたれおまへ
今、おまへ。おんちん。おまへと。おまへと。おまへと。
おまへと。おまへと。おまへと。おまへと。おまへと。

おまへお個斗ひひまを。ねいぬよう。おまへをわかれぬ。おまへ
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。

おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。
おまへも。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。今まお高。

形もいさく。宅ハ大騷だぐ。送書も大々。一人が。出候。ど
 りうと。おひさま。その。変。あ。と。帰。方。の。人。物。不。存。ど。ま
 ち。へ。も。麻。ら。い。の。日。帰。ら。ま。い。よう。我。守。写。知。れ。る。の。ち。火
 騷。死。ら。う。と。お。お。ひ。ま。う。終。の。と。咄。も。え。や。帰。つ。安。心。さ。を
 中。に。官。置。ま。し。た。何。日。ま。で。は。方。不。存。と。せ。り。や。何。終。あ。あ
 の。名。ひ。あ。り。あ。や。あ。り。あ。り。う。う。女。形。だ。ら。不。帰。論。の。今
 七。也。進。進。あ。不。存。ま。り。々。奈。何。の。せ。ん。と。娘。の。心。一。つ。お
 納。め。り。様。様。被。見。と。お。り。ひ。ま。ん。せ。ら。何。の。中。の。知。ら。ぬ。あ。状。不

若。勞。う。け。る。も。空。怖。ろ。う。進。も。恨。め。ぬ。と。あ。ら。へ。一。先。お。お
 之。え。り。お。不。致。ま。ん。送。回。の。兼。知。の。う。へ。斗。ら。ん。と。や。う。く
 不。胸。成。定。あ。ま。し。く。是。る。子。姉。え。ん。何。様。も。鈴。方。が。う。う。今。の
 う。う。帰。り。ま。せ。う。う。不。些。も。早。い。う。官。子。更。あ。り。親。が。送。り。の
 う。と。特。む。う。う。些。か。待。心。の。程。小。千。代。を。い。ま。う。帰。て
 度。友。と。と。ち。出。遣。子。の。か。倉。子。倉。不。ゆ。れ。喜。不。あ。り。う
 妹。成。送。り。の。人。と。特。む。う。と。の。う。か。倉。か。水。知。七。今。夜。の
 例。より。二。階。も。日。名。あ。り。若。の。女。思。と。減。多。る。人。不。送。ら

送
 八

古



新
生
五

二
日

甘る由心就三階きん一のけん先翁の年齢といひ其の
彼人多くはぬきひりどお命が指揮小宮八由成り
准由由出者りよ六千代きんらるるもより法ちがひせまの
ぞと能く嫌成院一の暖簾の隙を透して出候父成へ
の云傳しよとぬえしと列るも六千代きん再々世に出
指ふの隙もてをさぐりもより法ちがひしきんらるるも
のも嫌の爲にお出候頻り小塞ぎ一室子でとるも由の
うち。うちが照らまに挑灯ふ。ちや大門成らるる出候提へか

はむ向ふころ。脊のいとさき一個の男。お命さうりーが
ままり一宮八さん其への強連くは知れ性のさすも存在
の方へ送り。様さんおお備へ候のち。ちや今夜に候へ
り宮八さん被女思へ候。素人あやと遠ひのちがきんら
あてりさうりー。様お命さうりー。お命さうりー。お命さうりー
祀へ。後美法の薬店へお命さうりー。お命さうりー。お命さうりー
清小腰頃くけり。うち八を被男の侍へより。数と候りて候
やえん。お命さうりー。お命さうりー。お命さうりー。お命さうりー

りても海まで千代さまんぐをのふら。おち松の佃を徳儀
あへ況めて自己の身ミの苦遁くつんと成さつてや方処ところ。それ成兼知
あまさう秘へのい。その身を幾千若めても。我理成バやりへと云
り経。実不女の飛渡たごともい。えとる若の千代さまんぐのいふ
お海あまの眉まゆ成なり敵たごめ。一ひとままや何なにも。松の根ねが水みづ知しあつても。
陸りく分ぶんをどは流ながるのを。一ひとままはさまひえん。遠とほれもあひ。そ
まが。おち松方まごんがたのほなるの答こたへはむく。一ひとままあつてと母はは成なりへ
形かたちが身を流ながるか。若わかる。今いま休やすみ今夜こんや帰かへるのい。親子おやこの中なかでも西にし目め

まの。松まつがわつて歸かへり無ない。松まつ方かたがさつて帰かへると極まぎろ。身み成なり
流ながる。とどが出で来きる。あつて。さうでえ。松まつ成なりへ。さうさう。お松まつへと
何なに年ねん経へる。の。身み成なりとて。お松まつへ。一ひとままが何なにも。お。あ。個こ
とも。其その知して。あつて。さう。松まつさまん。下したの方かたの男おとことえん。
何なに成なりけね。ば。さう。ある。松まつへ。お。松まつが。松まつと。密ひそか。好この成なり。熱あつと
えん。一ひとままは。松まつさう。百ひゃくあや。二ふた百ひゃくあや。松まつせと。さう。も。あ。ま。
相あひま得えが。松まつへ。さう。今いま夜よでも。松まつの。松まつも。掛か合あひ。さう。何なに知しる。
ご。一ひとままは。松まつさん。何なに知しる。さう。一ひとままは。松まつさん。何なに知しる。

交^まう。それ^もや^ア今^まう^う辨^わさん^ふ。その^ま影^{かげ}し^て成^なり^しと^んて^ま
 ま^ま、そ^のや^ア大^おま^まど^の千^ち代^よま^まん^の世^よに^まま^ま止^とめ^られ^るハ
 一^と知^ちれ^る。その^ま人^{ひと}を^ま倭^{やまと}ま^まを^ま尾^おま^ま。今^{いま}の^ま把^は引^ひ成^なし^と
 志^しや^アと^ん人^{ひと}婦^ふさん^が不^ふ義^ぎ知^ち成^な。ま^まま^まも^も大^{だい}事^じ秘^ひへ^ア
 其^{その}ま^まの^ま千^ち代^よま^まさん^のも。依^よて^ある^やア^は事^じが^ま庶^{しよ}乃^のト^お成^な
 ま^まの^ま渠^か等^{とう}が^ま車^{くるま}ふ。不^ふ破^はと^ある^まを^ま海^{うみ}が^ま身^みの^ま人^{ひと}実^{じつ}不^ふ井^い方^{かた}端^は
 の^ま柔^{じゆ}碗^{わん}よ^う。危^{あや}ふ^き場^ばと^まま^まの^ま小^こけ^け。

郭花笠三編巻之中終

0109824657910



